

純正ミラー交換タイプ/ドライブレコーダー機能付き

デジタルルームミラー 【取扱説明書】

MDR-G1011A/B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- フロントカメラ映像を表示したまま運転しないでください。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。ロックファイル(衝撃検知)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

- 11.雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

- 12.衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合
- 13.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

使用上のご注意

- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使わないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- 運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 本機以外で記録した映像を見るためには、パソコンおよびSDカードリーダーライターが必要です。必要な機器は、別途ご準備ください。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

【microSDカードについてのご注意】

下記仕様のmicroSDカードをご利用ください。

記録媒体:microSDHC／microSDXCカード

対応容量:128GB(推奨容量:64GB以下)

スピードクラス:Class10

バスインターフェーススピード:UHS-I, UHS-II

※上記仕様を満たしていてもご利用頂けない場合があります。あらかじめご了承ください。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDカード」と表記しています。

- 記録媒体の仕様をご確認の上、必要に応じてご準備ください。仕様に合致していても動作しない可能性がありますのでご了承ください。
- microSDカードは指定した方向へ正しく入れてください。無理に誤った方向に入れた場合、microSDカードや本機の故障の原因となります。
- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
- ※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。安定してご使用いただくため、定期的にmicroSDカードを本体の設定メニューから初期化することをお勧めします。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。また、データが消失、破損したことによる被害につきましても、弊社ではいかなる責任も一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。付属のmicroSDカードにつきましても、購入特典としての同梱物となりますので、別途ご用意いただくことをお勧めいたします。

【駐車監視についてのご注意】

- 駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車監視機能の使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行ってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSDカードの容量や本体の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。



警告

■本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

12V車以外では使用しないでください。

■本機を分解したり、改造しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。

電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

■音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因となります。

■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。

規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。

そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

■運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

■本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。

■機器内部に水や異物を入れないでください。

発煙、発火、感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。

落雷により、感電の危険性があります。

■本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。

■microSDカード挿入口に異物を入れないでください。

火災や感電の原因となります。

安全上のご注意



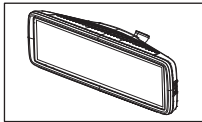
- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。
本機がはずれるおそれがあります。
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれカメラが脱落するおそれがあります。

安全上のご注意

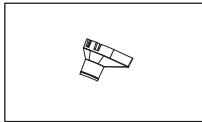
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- フロントガラスに水滴がついているとき、汚れているときなどは、撮影した映像が見づらくなる場合があります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。

付属品の確認

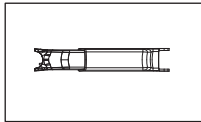
構成部品



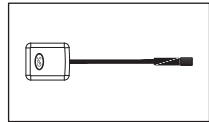
デジタルルームミラー
本体



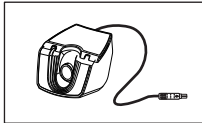
取付ブラケット



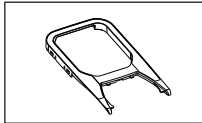
ケーブルカバー



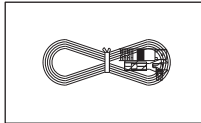
GPSアンテナ



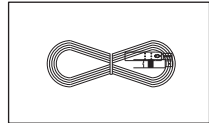
フロントカメラ



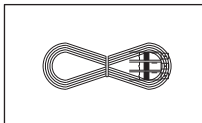
取付ステー
(フロントカメラ用)



電源ケーブル



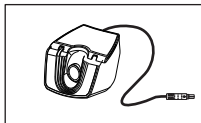
リアカメラ
中継ケーブル



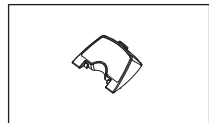
各部接続ケーブル



リアカメラ
※MDR-G1011A付属

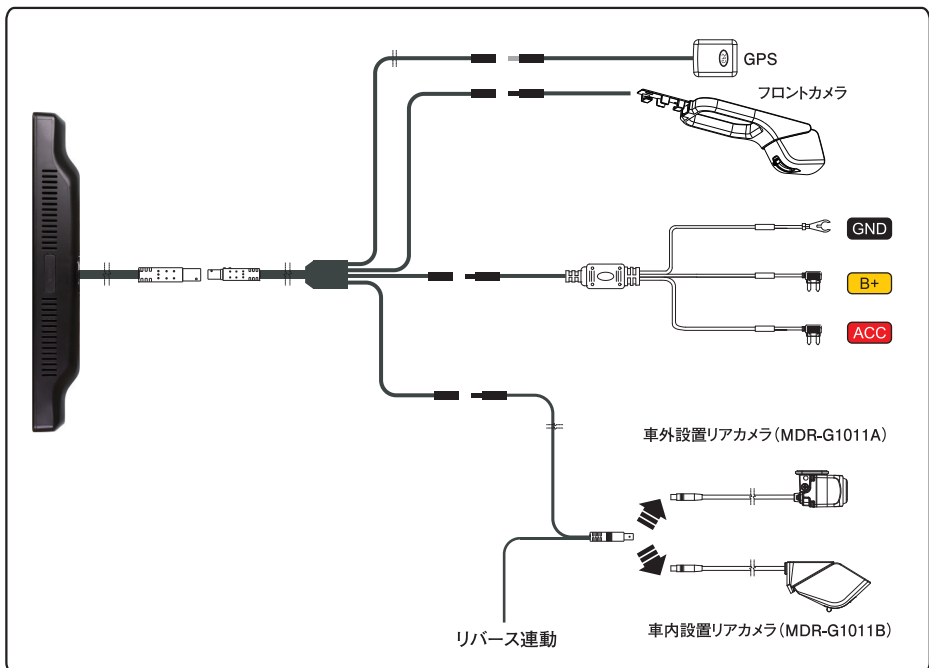


リアカメラ
※MDR-G1011B付属



角度調整アダプター
※MDR-G1011B付属

配線図



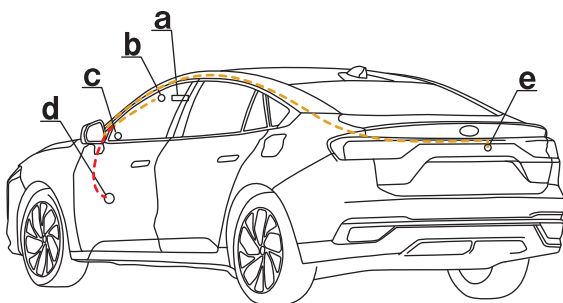
取付位置の確認

本製品の取付位置はお車により異なります。

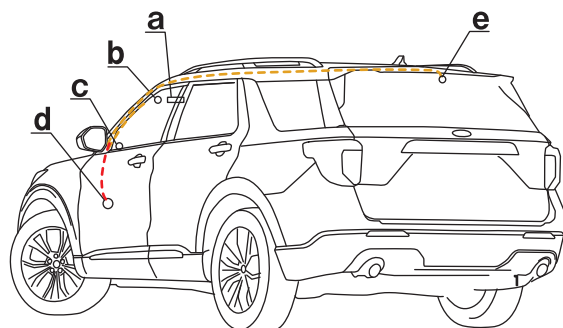
また、リアカメラの仕様によって取り付け方法や取付位置が異なります。

作業を始める前には、お使いのお車の取付位置を確認してください。

MDR-G1011Aの取付図

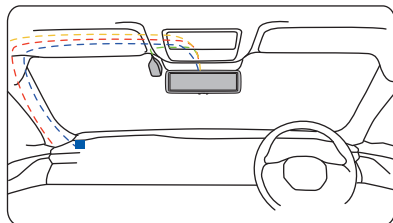
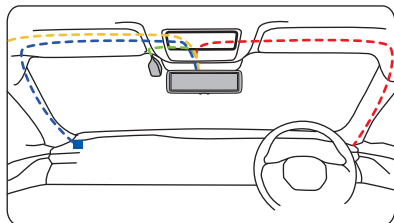


MDR-G1011Bの取付図

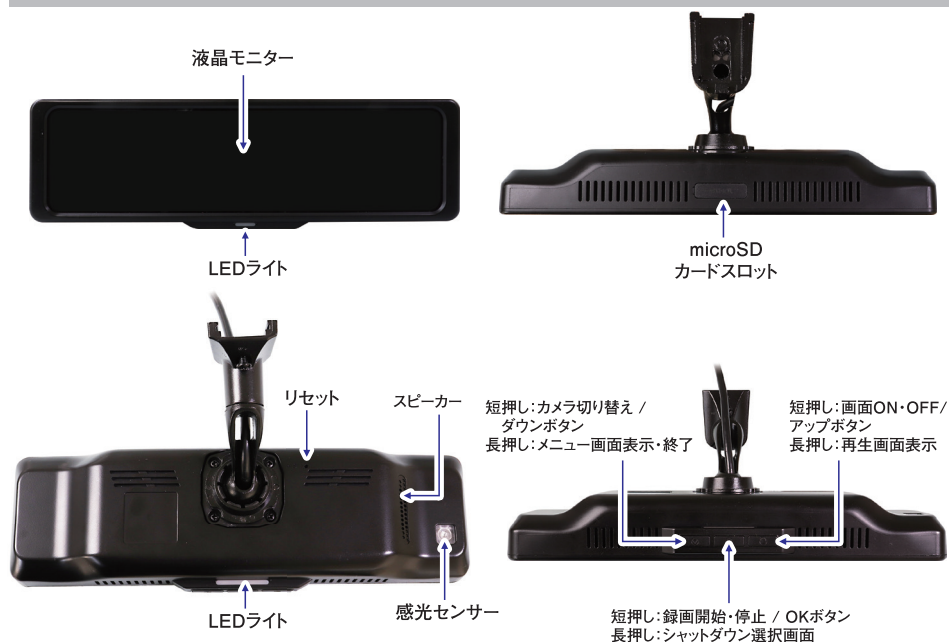


- a. 純正ルームミラーを取り外し、本機デジタルルームミラーを取り付けます。
- b. フロントウィンドウの内側に、フロントカメラを取り付けます。
- c. GPSアンテナをなるべく電波が遮られない場所 (例:ダッシュボード) に取り付けます。
- d. 電源ケーブルの各配線は車両側配線(ヒューズ電源)に接続します。※
- e. MDR-G1011Aの場合はリアカメラをナンバープレート上部に取り付けます。
MDR-G1011Bの場合はリアカメラをリアウィンドウの内側に取り付けます。

※ヒューズボックス位置(運転席側面/助手席側面)によって、フロントピラー部の配線方法が異なります。



各部の名称



取付時のご注意

- 安全な場所に駐車して作業をしてください。
- 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
- ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
- 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
- 温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
- 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
- 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取付を行ってください。
- 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
- 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
- 本製品を動作するには定格DC12Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。
複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。
その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
- 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディと接触するとショートします。
- リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。

取り付け前の準備

■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー（プラス、マイナス、星形T20）、10mmレンチ、電動ドリル（8.5mm）、ニッパー、ペンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤー、マスキングテープ、脱脂剤、はさみ、センターポンチまたはマジックペン、保護メガネ、保護手袋が必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、サイズの合う工具をお使いください。

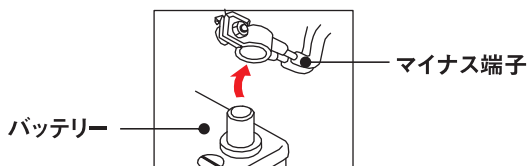
■作業の進め方

- 1.同梱物を確認する
- 2.本取付前に動作確認する
- 3.ミラー本体・GPSアンテナ・フロントカメラ・リアカメラを取り付ける
- 4.本体と各ケーブルを接続する

■本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するか仮配線して確認してください。

- 1.バッテリーのマイナス端子を外す。



マイナス端子を 外す際の注意

- 純正カーナビの暗証番号の再入力が必要です。
- カーナビの設定がリセットされます。
- 時計がリセットされます。
- その他、電子機器の再設定が必要です。

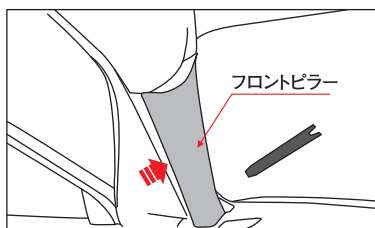
- 2.本体に電源ケーブル、GPSアンテナ、フロントカメラ、リアカメラを接続する。
- 3.電源ケーブルのACC、B+をヒューズボックスに接続し、マイナス端子を車体のアースに接続する。
- 4.microSDカードを装着する。※1、※2
- 5.動作確認する（フロント・リアカメラ録画）
- 6.電源OFFにする。バッテリーのマイナス端子を外し、本取付を行う。

※1.microSDはClass10以上、256GBまでのカードをご利用ください。

※2.microSDカードは本体でフォーマットを行ってください。

取り付け前の準備

1. 取付概要図を参照して、配線側のフロントビラーを取り外します。

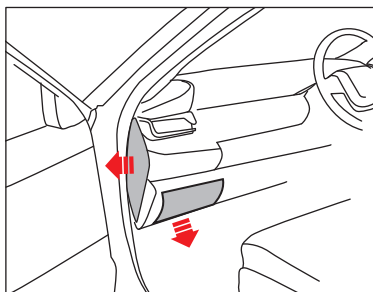


⚠ 注意

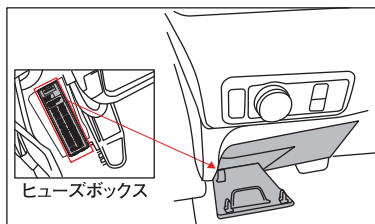
エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。

また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。

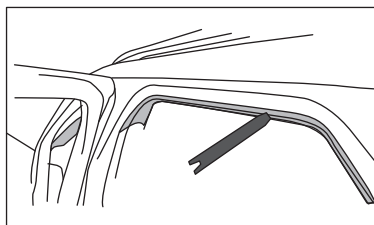
2. 取付図を参照して、車に応じて配線側のアンダーカバーなどを取り外します。



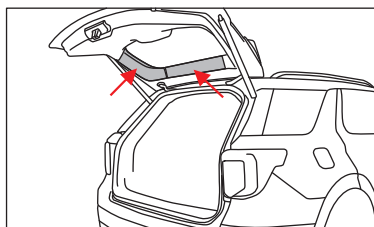
3. 車の取扱説明書等でヒューズボックス、アース位置やヒューズの詳細を確認してください。



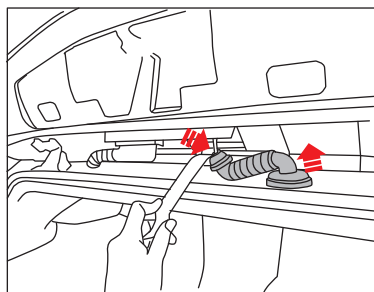
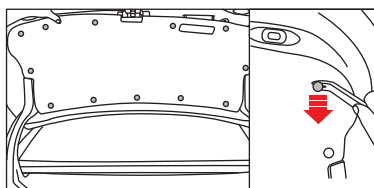
4. ドアを開け、ウェザーストリップゴムを引っ張り、配線しやすいように外します。



5. 取付概要図を参照して、車に応じてバックドアアトトリムなどを取り外します。

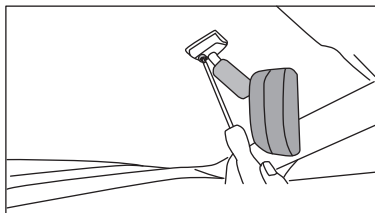


6. 取付図を参照して、テールゲートライニングや車両グロメット(バックドアがある車)などを取り外します。

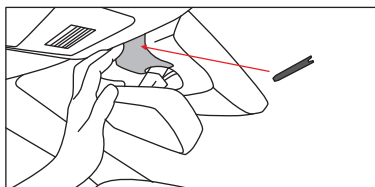


デジタルルームミラー本体の取付

1. 純正ルームミラーがねじで固定されている場合は、取り付けねじを外します。

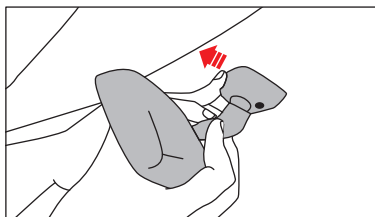


※純正ルームミラーの根元が運転支援機能（自動ブレーキ）のセンサー部などの装備カバー内にある場合は、センサー部のカバーを取り外してください。

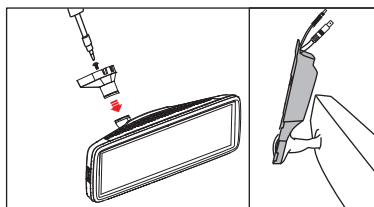


2. 純正ルームミラーを上(天井)方向にずらして取り外します。

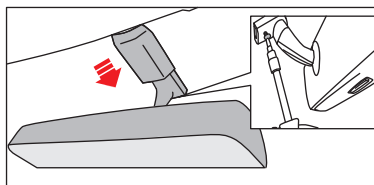
※ツメで固定されている場合は、ツメを下げながら外してください。



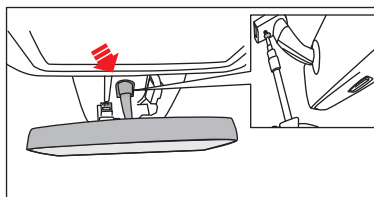
3. デジタルルームミラー本体に付属の取付ブラケットを取り付けます。
ケーブルカバーを利用する場合は、カバーを取付ブラケットに取り付けます。



4. デジタルルームミラー本体を車両に取り付けます。固定ブラケットのねじを締めて固定します。



運転支援装備カバーが無い場合

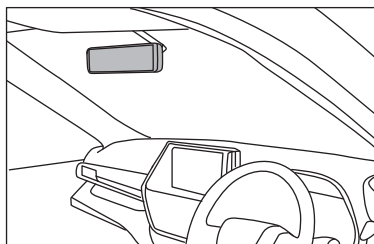


運転支援装備カバーがある場合

⚠ 注意

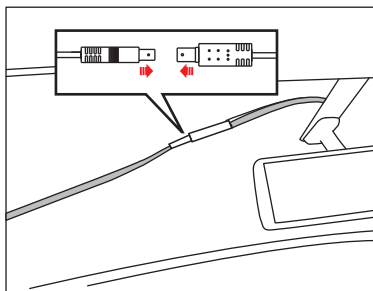
- 付属品以外のねじは使わないでください。
- ネジを締めすぎないようにご注意ください。
- 本機のミラーで後方が見えることを確認してください。正しく取り付けないと事故の原因となります。

5. デジタルルームミラー本体の取り付けは以上で終了です。

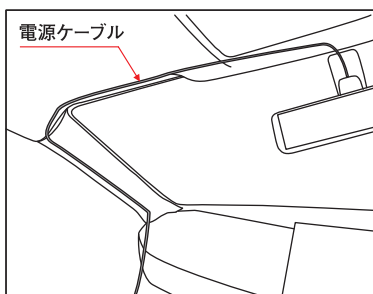


電源ケーブルの取付

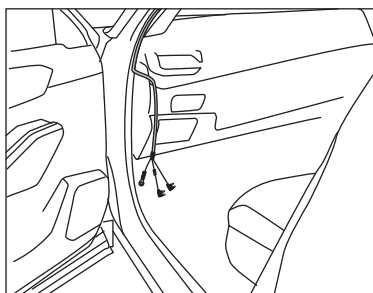
1. 本体の電源のコネクタを電源ケーブルのコネクタにカチッとロックがかかるまで挿入します。



2. 下図のように電源ケーブルをはルーフライニング、フロントサイドピラーライニング内を通します。



3. 下図のように電源ケーブルをヒューズボックス側座席の足元まで引き回します。



注意

- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。

4. 電源ケーブルの各配線はヒューズボックス、または下記の車両側信号配線に接続します。

●GND(ボディーアース)線:

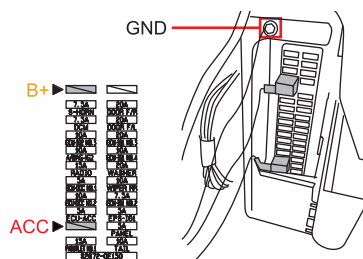
車両金属部分のボルト、ボディーアース配線などに接続します。

●ACC線:

シガーライター配線、オーディオ裏配線から取り出せます。

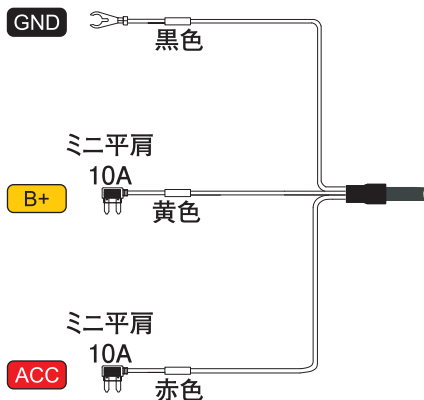
●B+線:

テスターで車のエンジンのON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路を確認後、接続してください。



アドバイス

GND端子の締付トルク目安
約10±1kgf



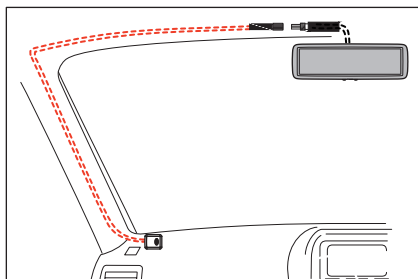
GPSアンテナを取り付ける

1. 取付概要図を参照して、GPSアンテナを設置してください。

⚠ 注意

- コード類は、エアバッグの動作や運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因になります。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。
- 貼り付け面の表面が本皮、木製パネル、布ばり等樹脂製でない場合は、表面仕上げを傷める場合がありますので貼り付けないでください。
- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる場合があります。

- 天空の遮へい物(フロントピラー、ルーフパネル)を避けた位置に取り付けてください。
- GPSアンテナは車のルーフのように、なるべく電波が遮られない場所に水平に取り付けてください。遮られた方向の衛星の電波は、受信できません。
- テレビラジオ放送の音声や映像に妨害を与えることがありますので、GPSアンテナコードは、テレビ、ラジオアンテナやテレビ、ラジオアンテナコードからできるだけ離して取り付けてください。



フロントカメラを取り付ける

■推奨取付位置

- 道路の水平線が画面の中央になる位置
- ワイパーの可動範囲にカメラ部がかかる位置
- 後方および左右に対して水平方向を向く位置
- 接続ケーブルが無理なく引き回せる位置
- 車検ステッカーと重ならない位置

⚠ 注意

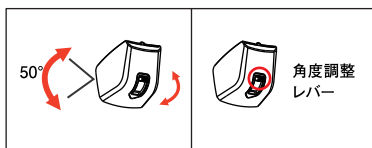
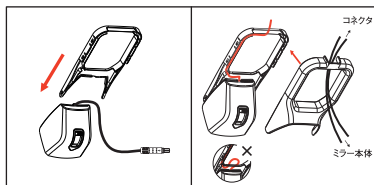
本製品は道路運送車両法・保安基準第29条のフロントガラス装着規制対象外です。

但し、設置場所はフロントガラスの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限りです。装着後、運転の邪魔にならないか、ルームミラーの操作の妨げにならないか等、十分に確認してから使用してください。



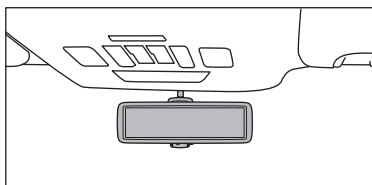
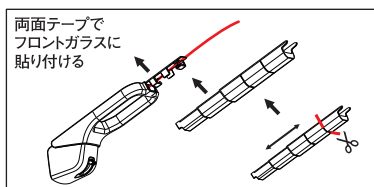
フロントカメラを取り付ける

1. 取付ステーの上ぶたを外し、フロントカメラの上ぶたと接続します。ケーブルをステーのくぼみに這わせませす。

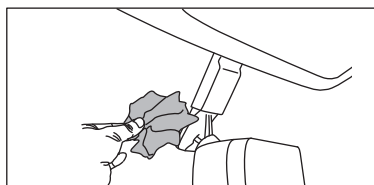


カメライメージセンサーの仕様上、内部発熱により筐体表面や角度調整レバー部分の温度が上昇します。
使用中、使用後しばらくは大変熱くなっておりますので直接触れないでください。

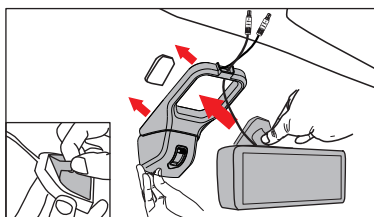
2. ケーブルカバーを使用する場合は適宜カットして取付ステーに接続します。



3. 取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



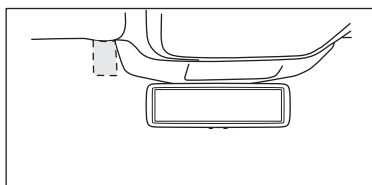
4. 本体の取付ステーをフロントカメラステーにくぐらせてウェッジマウントに差し込みます。フロントカメラのはくり紙を剥がしフロントガラスに貼ります。



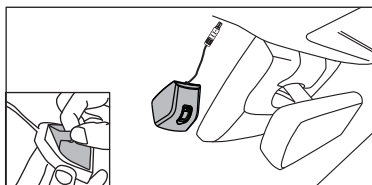
5. 角度調整レバーを上下してフロントカメラの角度を調整します。
フロントカメラの取り付けは以上で終了です。

【運転支援装備カバーがある場合】

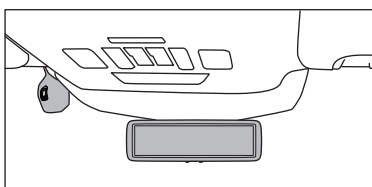
1. フロントカメラの設置場所を決めます。



2. 取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去し、フロントカメラのはくり紙を剥がしフロントガラスに貼ります。



3. フロントカメラの角度を調整します。フロントカメラの取り付けは以上で終了です。

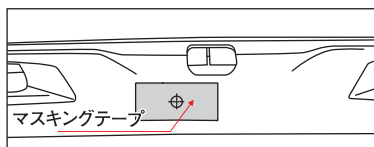


リアカメラを取り付ける (MDR-G1011A)

1. P.8取付図を参照して、リアカメラを

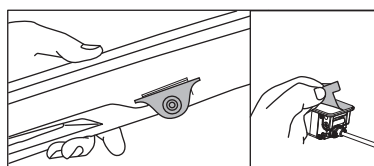
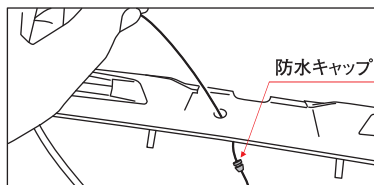
取り付ける適正な位置を決めてください。

※本機のモニターを確認しながら、リアカメラの角度が地面に対して水平になる、かつ道路の水平線が画面の中央になるように角度の調整が出来る場所に設置してください。



⚠ 注意

- 車載カメラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準」に準拠した取り付けが必要となります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めて、取り付ける位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。
- 取付ネジは時々点検し、緩みがある場合は増し締めしてください。

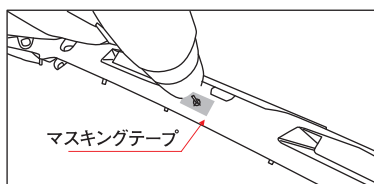


⚠ 注意

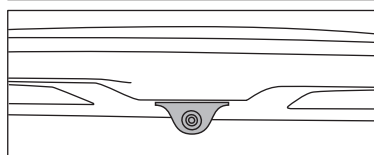
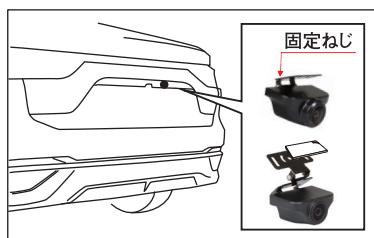
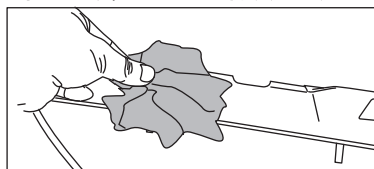
- 気温が低いとき(20℃以下)は、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 接着面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨に濡らしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

2. 取付面に穴あけ加工します。

※取付位置に養生テープ等のはがしやすいもので仮止めをしてから加工してください。

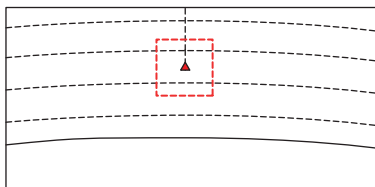


3. マスキングテープを剥がし、取付面の油分や汚れ、湿気をしっかりと除去します。



リアカメラを取り付ける(MDR-G1011B)

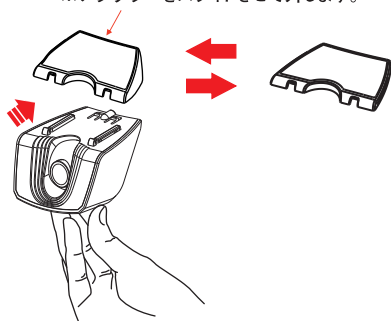
1. レンズ部分が熱線と重ならないよう、カメラを取り付ける適正な位置を決めてください。



※ワイパーの可動範囲にできるだけ地面と水平になるような場所を決めてください。

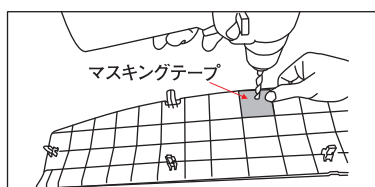
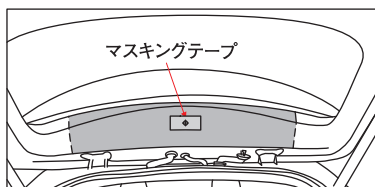
※リアウィンドウの形状によって、付属品の角度調整アダプターを使用してください。

角度調整アダプター
※アダプターをスライドさせて外します。

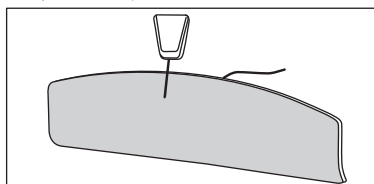


2. カメラ取り付け部に、カメラケーブル配線用の穴あけ加工します。

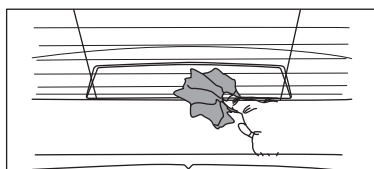
※加工位置をマスキングテープでマーキングしてから作業を行ってください。



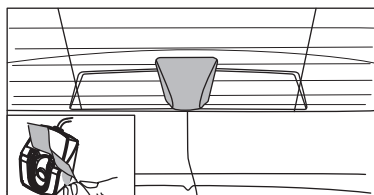
3. リアカメラの接続端子、ケーブルをを穴にゆっくり通します。



4. 車両側貼付け面の汚れを洗浄し、油脂等を脱脂剤できれいに拭き取ってください。

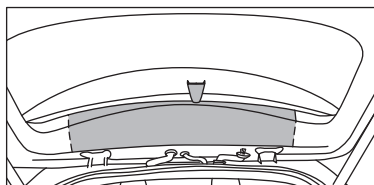


5. リアカメラ取付ステー部の両面テープのはくり紙を剥がしてから取付面に貼ります。



6. 角度調整レバーを上下してカメラレンズの角度を調整します。

リアカメラの取り付けは以上で終了です。

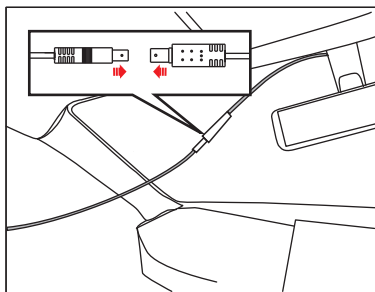


⚠ 注意

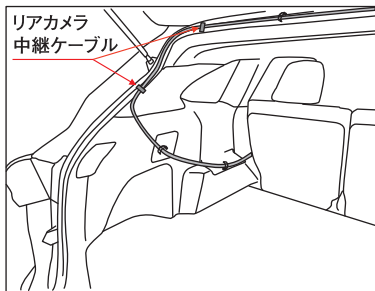
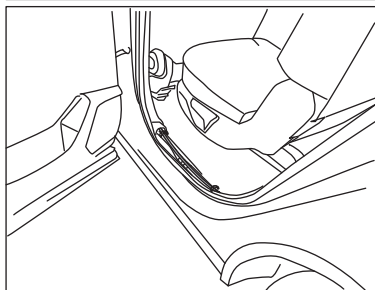
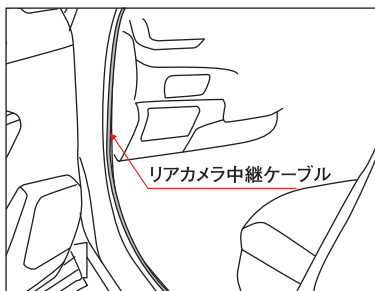
- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。あらかじめ仮接続・仮止めて、取り付け位置を決めてください。貼りなおさないでください。
- 必要な範囲が見える取り付け位置を確認してください。
- カメラは車幅に対してできるだけ中央付近に取り付けてください。

リアカメラ中継ケーブルの引き回し例

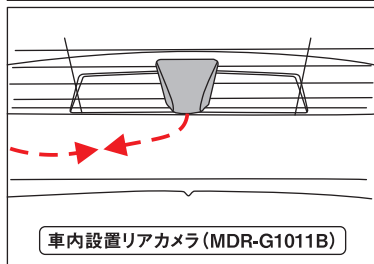
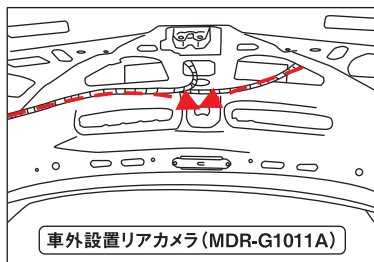
1. リアカメラ中継ケーブルの4PINカプラーをデジタルルームミラー側のコネクタに取り付けます。



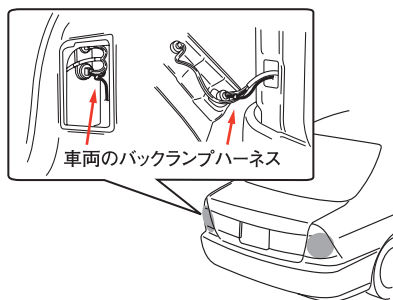
2. 雨水などが浸入しないよう、下図のようにリアカメラ中継ケーブルを配線してください。



3. リアカメラ中継ケーブルのカプラーとリアカメラのカプラーを接続します。



4. リバース連動線を車両のバックランプハーネス等(シフトレバーを「R」の位置にしたときに電圧が変化するハーネス)に接続してください。



⚠ 注意

- 取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。
- リバース連動線の接続先は、停車中にシフトレバーを「R」にした時に6V以上の検知電圧値になることをテスターで確認してください。
- 端子を確実に差し込んで下さい。
- 着脱時にはケーブルを引っ張らないでください。
- ケーブルは、改造による延長はしないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- ケーブルは、高温に上昇する車両の装置に接触しないようにしてください。

取付完了後の確認

■車両部品の復元

取り外した車両部品を元通りに復元します。

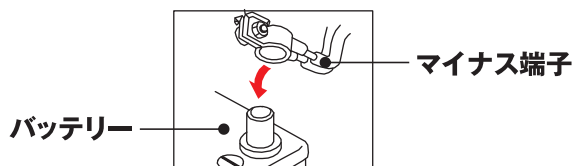


注意

車両内装トリムを復元した際、コードにかみ込みが無い事を確認してください。

■作業の後に

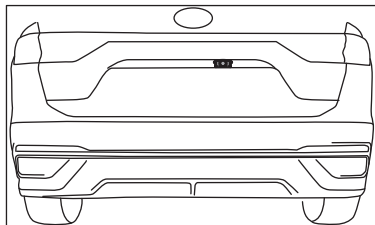
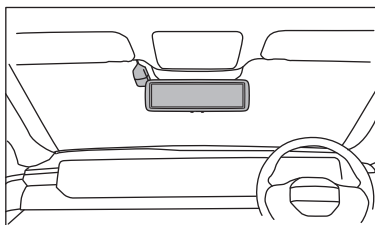
1. 取り付けした機器や、配線が正しくされているか確認します。
2. デジタルルームミラー本体、フロントカメラ、リアカメラがしっかり固定されているか確認します。
3. バッテリーのマイナス端子を接続します。



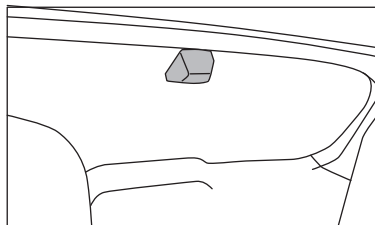
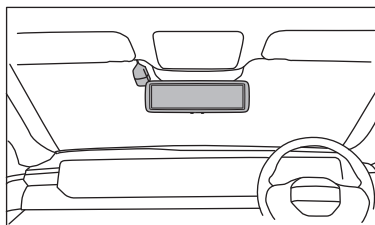
4. 車のエンジンをかけ、デジタルルームミラー、GPSアンテナ、フロントカメラ、リアカメラが正常に動くことを確認します。

■取付完成図

MDR-G1011Aの場合



MDR-G1011Bの場合

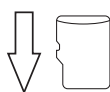


microSDカードの挿入・取り外し

■カードを挿入する

本体上部microSDスロットにmicroSDカードを挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



向きに
ご注意ください



■カードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを押して、カードが少し飛び出たら引き抜きます。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



※microSDカードはClass10以上、128GBまでのものをご利用ください。

※microSDカードは本体からフォーマットを行ってください。

電源のON/OFF

■電源のON

車のエンジンを始動（イグニッションキーをON）にすると、本機の電源がオンになります。
同時に常時録画を開始します。

※システム起動のため数秒かかります。



microSDカードを挿入しないで電源を入ると録画は開始しません。
フロントカメラ、リアカメラを接続しないで電源を入ると録画が開始しません。

■電源のOFF

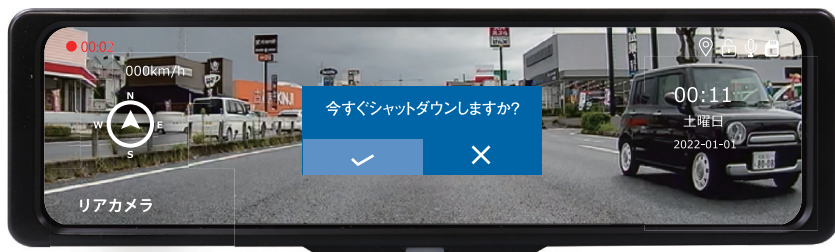
車両のエンジンを停止（イグニッションキーをOFF）すると、自動的に停止します。
同時に常時録画を停止します。

■電源を手動でOFFにする

本機の電源がONのときに、電源ボタンを3秒長押しすると「今すぐシャットダウンしますか?」のボタンが表示され、どちらかのボタンをタッチして操作を実行できます。

手動で電源をOFFにした状態で電源ボタンを短押しすると電源ONにできます。

※エンジンスイッチが「OFF」のときには手動で電源を「ON」にすることはできません。



ディスプレイ表示

■ 操作画面

本機起動時や録画モードと表示モードを切り替える時に操作画面が表示されます。
また、カメラ映像表示中に画面をタッチすると、操作画面が表示されます。



- ① 録画中マーク…録画を開始すると、アイコンが表示されます。
- ② 録画時間…録画を開始すると、録画時間が表示されます。
- ③ GPS方位表示…GPS測位すると、走行中に方位と速度が表示されます。
- ④ カメラマーク…映像が映っているカメラの名称が表示されます。
- ⑤ GPSアイコン…GPSアンテナ接続時に表示されます。
- ⑥ ロックアイコン…現在の録画保護の状態が表示されます。
- ⑦ 録音アイコン…音声録音の状態が表示されます。
- ⑧ SDカード挿入アイコン…microSDカードの状態が表示されます。
- ⑨ 日時表示…現在の日時・曜日が表示されます。

カメラ表示切替

本体下部の左側のボタンを短押し
するたびにカメラ表示が切り替わります。



このボタンを短押し



カメラ表示切替

■カメラ表示OFF

本体下部の右側のボタンを短押しで
カメラ表示がOFFになり、通常のミラーと
してご使用いただけます。



このボタンを短押し



再度右側のボタンを短押しでデジタルミラーに戻ります。

各種設定

本体下部の左側のボタンを長押しで
設定画面が表示されます。



このボタンを長押し



設定画面

■設定画面操作方法

本体下部のボタンを操作して各種設定を行います。



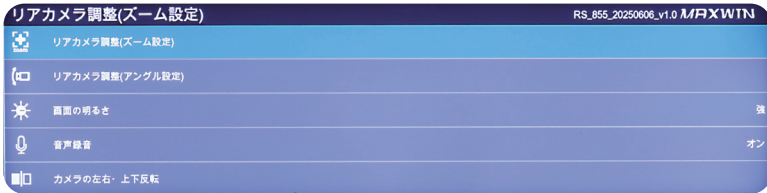
短押し: ダウンボタン
長押し: 戻るボタン

短押し: OKボタン

短押し: アップボタン

各種設定

■ 設定項目



《リアカメラ調整(ズーム設定)》リアカメラのズーム表示の設定をします。(×1～×10)

《リアカメラ調整(アングル設定)》リアカメラのアングルの設定をします。

《画面の明るさ》液晶画面の明るさの設定をします。

《音声録音》音声録音の設定をします。

《カメラの左右・上下反転》フロント・リアカメラの左右・上下反転の設定をします。

《ループ録画》ループ録画の時間を設定します。(1分/2分/3分)

《GPS情報》GPSアンテナの受信状態を確認できます。(※GMT+09:00(初期設定))

《起動音》起動音の設定をします。(オン/オフ)

《Gセンサー感度(イベント録画)》イベント録画のGセンサー感度を調整します。

《Gセンサー感度(駐車監視録画)》駐車監視録画のGセンサー感度を調整します。

《画面消灯時間》画面を消す時間を設定します。(消灯/1分/3分)

《起動時画面》起動時に表示する画面を設定します。

(フロントカメラ/リアカメラ/2画面(フロント/リア)/2画面(リア/フロント))

《時間表示形式》12時間表示/24時間表示を選択します。(12時間/24時間)

《時間表示設定》液晶画面に日時を表示する、しないの設定をします。(オン/オフ)

《日時設定》映像に記録する日時の設定をします。

GPSを接続した場合は自動設定できます。

《タイムラプス録画(駐車監視録画)》タイムラプスの時間を設定します。

(オフ/1時間/2時間/4時間/8時間/12時間)

《言語設定》メニューや警告などの表示言語を選択できます。

(中国語(繁体・簡体)/英語/日本語/)

《音量》操作音の音量を設定します。(ミュート/低/中/高)

《操作音》操作音を設定します。(オン/オフ)

《LEDの点灯》本体のLEDランプの点灯/消灯を設定します。

《SDフォーマット》microSDカードをフォーマットします。

《設定初期化》設定を工場出荷状態に戻します。

録画モード

■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。

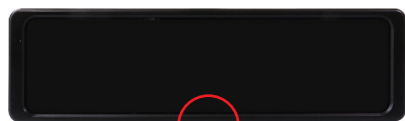
設定により、1分/2分/3分と録画時間を設定できます。

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



■各録画モード時のLEDライト発光パターン



フロントLEDライト

■通常録画

フロントLEDライト…ブルー点灯

■イベント録画

フロントLEDライト…オレンジ点灯

1分後、ブルー点灯



リアLEDライト

■タイムラプス録画

リアLEDライト…レッド点滅

■衝撃検知録画

フロントLEDライト…オレンジ点灯

1分後、ブルー点灯

駐車監視録画

- タイムラプス録画………… タイムラプス録画を実行する時間(オフ/1時間/2時間/4時間/8時間/12時間)を設定します。
- 駐車監視録画………… 駐車監視録画(衝撃検知)のオフ/低/中/高(検知感度)を設定します。

駐車監視録画(衝撃検知)を行うには、設定メニューの「駐車監視」を低/中/高のいずれかに設定してください。

■駐車監視録画(衝撃検知)

車両のエンジンを停止(ACCオフ)すると、約5秒後に本体の電源がオフになります。本体の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になります。本体に搭載されたGセンサーが衝撃を検知すると、自動的に約20秒間の緊急録画を行い、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。車両エンジンを始動(ACCオン)すると、本体の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



ご注意

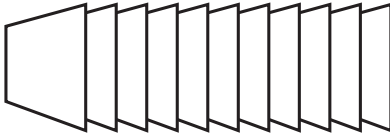
- ドアを締めたときの衝撃を検知して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。
- 「駐車監視」と「タイムラプス」はどちらか1つを選択してお使いください。両方ご使用する場合は、「タイムラプス」が優先して動作します。

駐車監視録画

■タイムラプス録画

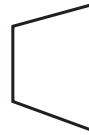
1秒間のフレーム数(撮影枚数)を少なくして映像を記録する機能で、通常の録画より使用するメモリー容量を抑えることができるので駐車監視時に最適です。また短い動画に圧縮して保存することでバッテリー使用容量を抑え、長時間の録画が可能になります。

(例) 通常録画



1秒間に27.5枚撮影
(27.5fps)

タイムラプス録画



1秒間に1枚撮影
(1fps)

バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。

リアカメラ映像

通常時



バックギア入力時

■バック連動画面のアングル調整

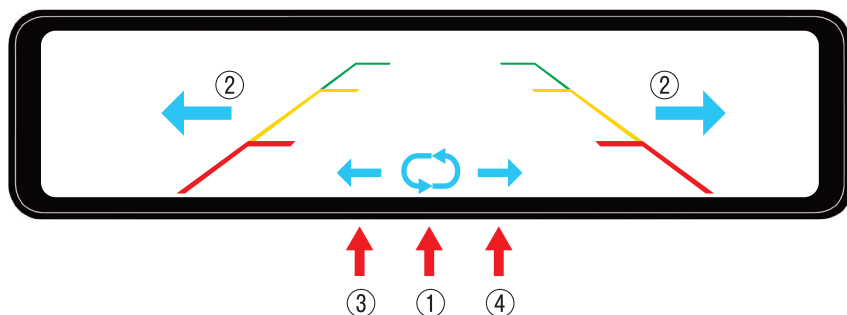
初期設定では、バック連動時にバック画面のアングルは一番下に向いています。

バックのアングル角度も手動で調整可能です。

調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。

調整方法:

バックギヤ入力するとバック補助線が表示されます。バック補助線が表示している状態で①のボタンを押します。②のガイドライン調整方向が表示されますので③④のボタンを押して左右幅を調整します。調整できたら①のボタンを押して上下幅の調整に切り替えます。ご使用の車両や環境に合わせてアングル調整してください。



バックギヤを切ると、調整状態を記憶して完了します。

※ガイド線、アングルを調整するときは安全な場所に停車してください。

※左右の線は連動していません。個別に調整してください。

再生画面

本体下部の右側のボタンを長押しして再生画面が表示されます。



このボタンを長押し

以下の画面で録画したファイルの再生や削除の操作ができます。



- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| ① 選択ファイルのファイル名 | ⑤ サムネイル | ⑨ フロント録画切替 |
| ② 常時録画動画 | ⑥ 現在時刻 | ⑩ リア録画切替 |
| ③ イベント録画動画 | ⑦ ファイラー一覧のページ数 | ⑪ メニュー画面に戻る |
| ④ 静止画 | ⑧ 選択ファイルの録画時間 | |
- (Gセンサー感度(駐車監視録画)時に撮影)

再生画面

■録画ファイルの選択方法



例) 常時録画ファイルの場合

- 1.カーソルを「フロントカメラ」「リアカメラ」いずれかのアイコンに移動させてOKボタンを押します。
- 2.「常時録画」アイコンにカーソル移動して、決定ボタンを押します。
- 3.カーソルがサムネイルに移動するので、カーソルの移動ボタンで確認したいサムネイルに移動して、OKボタンを押します。
- 4.再生画面に切り替わって再生が始まります。
- 5.左のカーソルの移動ボタン長押しで戻ります。

■録画ファイルの削除方法

- 1.カーソルを削除したいサムネイルに移動させて、右のカーソルの移動ボタンを長押しします。
- 2.メニューが立ち上がりますので、「保護」「保護解除」「削除」「全削除(グループ内のすべてのファイル)」から希望する項目を選択して、OKボタンを押します。
- 3.左のカーソルの移動ボタン長押しで戻ります。

専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページのソフトウェアページからダウンロードします。

【Windows】 <https://maxwin.jp/item/mdr-g1011/>

【MAC】 <https://maxwin.jp/item/mdr-g1011/>

※ビューア画面のデザイン等は変更する場合があります。

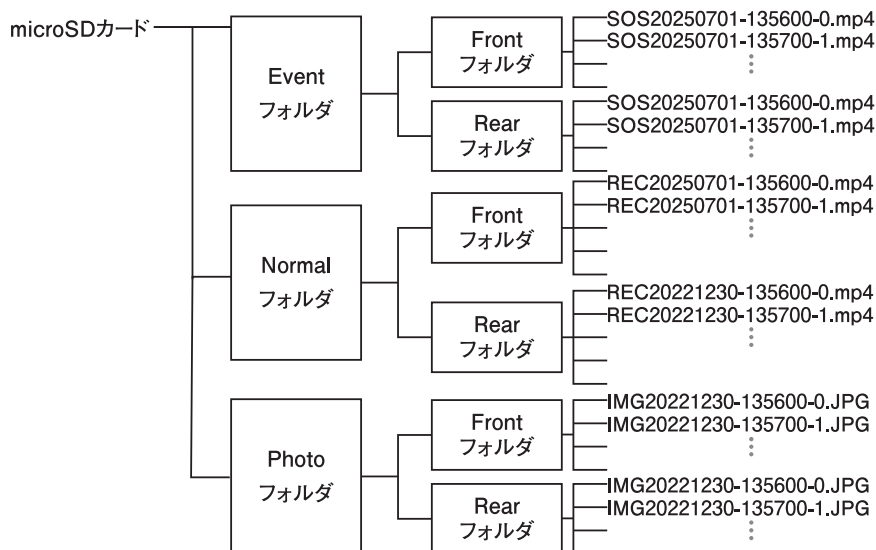
※ビューアのインストール/操作等はパソコンの基本的な知識が必要となります。

(パソコン操作等のお問い合わせは、お受けできません。)

ファイル名称

フォルダ構成

映像が記録されている SD カード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



記録される静止画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

IMG20231226-153314-0.JPG

IMG西暦年、月、日 - 時、分、秒-0.JPG

記録される常時録画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

REC20231223-142316-0.mp4

REC西暦年、月、日 - 時、分、秒-0.mp4

記録される緊急録画ファイルは下記のファイル名で保存されます。

SOS20231223-142616-0.mp4

SOS西暦年、月、日 - 時、分、秒-0.mp4

よくある質問

■故障かな?と思ったら

次の一覧から該当する症状、または表示されるメッセージを見つけて対処してください。
解決方法を見つからない場合は、お買い上げの販売店または当社サービス窓口へ
ご相談ください。

質 問	回 答
電源が入らない	ヒューズが入っていないか断線しています。 ヒューズを入れるか原因を確かめてからヒューズを交換してください。 お買い上げの販売店にご相談ください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
LED信号機のライトが確認できない	映像の記録周期とLED信号機の周期によって、一瞬信号機のライトが消えて見えることがあります。 信号機が確認できない件については、弊社は一切責任を負いません。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知しています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	期間を開けて使用する場合は日時表示がリセットされることがあります。 日時を手動で設定し直してください。
画面がフリーズする	microSDカードの書き込みエラーが発生し、本体システムに異常が発生した可能性があります。microSDカードを交換してください。 ※電源ボタンを10秒以上押し続けると強制的に電源をOFFにすることができます。 ※microSDカードの再フォーマットをお試しください。それでも不具合が見受けられる場合は、別のカードの使用をお試しください。 ※安定した動作のために、国内正規品のmicroSDカード(Class10以上)推奨となります。

製品仕様

モニター	10.88インチカラー液晶(解像度:1480×320)
録画解像度	1080P@27.5fps+1080P@60fps
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	MP4
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)
Gセンサー	3軸加速度センサー
電源	12V(DC5V、2.5A)
動作温度範囲	−10℃〜+60℃

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

MAXWIN